



ソーラン節で盛り上げる新年会

洞爺地区の
独居のお
年寄りを
対象にし
たふれ愛
クラブの
新年会が、
1月20日

ふれ愛センターで開かれ、会員、ボランティア合わせて約40人が参加して、民謡や餅つきなどで楽しみました。

同クラブの活動は、社会福祉協議会の事業として実施されていて、会員は、女性75歳、男性70歳以上が対象。そのほか、夫婦で80歳以上の世帯も加入できます。

当日は、全員で「一月一日」を合唱した後、千鳥会の皆さんが民謡を披露。ソーラン節に合わせた踊りなどでステージを盛り上げました。引き続き餅つきが行われ、出来たての餅をみんなで食し、新年を祝いました。

民謡で楽しむ ふれ愛クラブの新年会

町内の学校給食にホタテカレー 児童ら特産品をおいしく味わう

町の特産品のホタテのおいしさを児童生徒に知ってもらおうと、1月22日町内の小中学校で、ホタテカレーが給食メニューに登場しました。

学校給食センターが、いぶり噴火湾漁業協同組合から2年貝207kg、1,650枚の無償提供を受け、「全国カレーの日」に合わせて、この日ホタテカレーをメニューにしました。

とうや小学校の2年生のクラスでは、大好きなカレーに



ホタテカレーをほおぼる洞爺小学校の2年生

類も緩み、大ぶりの貝柱を口いっぱいにはおぼっていました。

開局近づくコミュニティFM 番組作りの講習会

西胆振1市3町をエリアに、4月の開局をめざして準備を進めているコミュニティFMラジオ局のボランティア講習会が、1月24日役場防災研修ホールで開かれました。

同局に参加を希望するボランティアや関係者など約20人が、コミュニティラジオの意義や番組作りなどについて学びました。

最初に、室蘭で開局しているFMびゅーのパーソナリティで、室蘭まちづくり放送社長の沼田勇也さんから、同局の沿革やコミュニティFMの役割などについて説明。続いて企画書の作成から放送に至るまでの番組制作の基本



番組作りを行う受講者たち

について受講し、最後に参加者が番組作りに挑戦しました。



放水の体験をする参加者

1月26日の文化財防火デーに合わせて、前日の25日に防火訓練を、

入江高砂貝塚館で、31人が参加して行いました。

1階展示室から出火したとの想定で、警報のブザーとともに避難を開始し、貴重な土器や石器などの展示品を運びだしました。屋外では、西胆振消防組合の消防車1台が駆けつけ放水を行い、引き続き同駐車場で参加者が消火器での消火活動を体験しました。

訓練後には、歩くスキーでの史跡高砂貝塚内の散策とアプタ・フレナイの会の指導で、石ナイフを使った縄文鍋づくりを行い、完成した鍋を参加者でたいらげました。

文化財防火デーで防災訓練 入江高砂貝塚館から展示品を搬出

